



奄美市立住用中学校

絆

『学び』で可能性の扉を開く住用中

令和6年度

学校だより No.11

令和7年2月26日

1.01の法則と0.99の法則

校長 中尾 奨

今の自分の生活を「1.00」とします。そこで、1日の中でほんのちょっとの努力(+0.01)をした日は「1.01」逆に1日の中でほんのちょっとサボること(-0.01)をした日は「0.99」。この1.01と0.99には0.02の差しかありません。

でも、ちょっと頑張った日を1年間続けると、 $1.01 \times 1.01 \times 1.01 \times \dots \times 1.01$ を365回掛けると1.01の365乗 $=37.783\dots$ 。少しの努力を続けるプラス0.01(+1%)では約37.8倍になります。しかし、ちょっとサボった0.99を365回掛けると0.99の365乗 $=0.0255\dots$ 。少しの努力を怠るマイナス0.01(-1%)では約0.03倍になります。37.8と0.03は約1200倍の差が生まれます。「人の2倍努力しなさい」と言われてもなかなか難しいものですが、「人よりほんのちょっと+0.01だけ努力しなさい」と言われれば何とかできるのではないのでしょうか。

「ほんのちょっとの+0.01」とは、1日に換算すると1日=24時間=1440分の内の0.01ですから約15分になります。1日にうちの約15分の使い方が未来のあなたを決めるのです。

つまり、「1.01の法則」というのは、こつこつ努力すればやがて大きな力になるという法則です。そして、「0.99の法則」は、少しずつサボればやがて力がなくなるという法則です。

ちょっとした頑張りが、1年後には大きな結果をもたらします。1年後、37.8倍の自分になるのか、0.03倍の自分になるのかは、毎日のちょっとした継続で決まります。

ことわざにも「塵も積もれば山となる」「雨垂れ石を穿つ」「千里の道も一歩から」「継続は力なり」など続けることが大事と説いているものがたくさんあります。

毎日、少しの積み重ねを続けることが、自分の求めるもの(目標)へたどり着く一番の近道だと思います。

それぞれの目標に向かって頑張りましょう!!



1.01の法則 ⇔ $1.01^{365} \approx 37.8$
ほんのちょっと努力すれば、やがて大きな力になる。

今の自分
1.00

塵も積もれば山となる。雨垂れ石を穿つ。
千里の道も一歩から。継続は力なり。



0.99の法則 ⇔ $0.99^{365} \approx 0.03$
ほんのちょっとサボれば、やがて力は減少する。

鹿児島をまるごと味わう



1月24日(金)に、鹿児島を丸ごと味わう給食週間の一環で、向美芳教育長、大庭梨香奄美市議員、喜入貞信奄美市教育委員会主幹の3名が住用中学校を訪れ、生徒と一緒に給食を食べる催しが行われました。

生徒たちは、お客様がいても普段通り変わることなく楽しく会話しながら美味しく給食をいただきました。成長が感じられる一コマでした。おいでいただいた方々も中学生が給食を楽しんでいる姿を目にしてうれしそうにしていっしょなのが印象的でした。

給食は、素材を用意する方、作ってくださる方だけでなく、給食制度を維持して下さっている方々のおかげであることを生徒は感じたに違いありません。

給食かるた贈呈式



1月24日(金)の昼休みに、日ごろおいしい給食を用意して下さる方へ感謝の気持ちを込めた給食かるた贈呈式を行いました。

給食かるたとは給食を題材にした手作りのカルタです。峯崎先生の指導の下、全員で協力してユニークなかるたをたくさん作りました。

贈呈式では1年生の松山結奈さんがお礼の言葉と共にかるたを送りました。

学校栄養士の松野下先生から「給食を活用したカルタの制作、ありがとうございました。想像を超えるアイデアにとっても感動し、楽しみながら1枚1枚見ることが出来ました!」というお返事をいただきました。

今年度残り少ない給食に大切に向き合ってくれると期待します。

校内みかん狩り



1月29日(水)の6時間目に住用中校舎裏側の学有林でみかん狩りを行いました。実は住用中学校はおよそ9.8haという広大な学有林をもっています。生徒たちの親世代から育てられていたみかんが今年もたくさん実をつけました。

生徒たちはマジックハンドを手にして、たくさんなっているみかんを楽しそうに収穫しました。半分ほどはすでにヒヨドリなどに中身を食べられていたり、マジックハンドが届かない高さになっていたりしましたが、20分で50個ほどの収穫になりました。

その後学校の玄関でおいしく食べていました。住用中ならではの活動として発展させていきたいです。

職業人に学ぶ講話



2月19日(水)6校時に奄美博物館の平城達哉さんを講師にお招きして、職業人に学ぶ講話を行いました。

平城さんは自己紹介、博物館の役割、学芸員の仕事の概要、詳細と話をしてくださいました。

平城さんは、奄美市で育ち沖縄の大学で動植物を学んで奄美市役所に就職しました。学芸員の仕事には「自然」「歴史」「民俗」「美術」「地理」「考古」の分野があるそうです。奄美博物館は当時自然の学芸員の募集がなかったそうですが、大学で学んだことを自分で続ける中で、市役所職員から学芸員への転身をされたそうです。現在では奄美群島で1人、鹿児島県でもわずかに3人しかいない自然の学芸員として、博物館の機能である「収集保存」「調査研究」「展示公開」「教育普及」にエネルギーに活動されています。奄美が世界自然の島として注目される中、たった一人で膨大な仕事と格闘されています。

平城さんの仕事に打ち込む姿に生徒たちは圧倒されるとともに、学芸員の仕事に大いに興味を持ったようです。また、平城さんの働き方に触れ、働くことの尊さや進路を自ら選び取る心構えを学んでいました。

ビブリオバトル



2月8日(土)に、ビブリオバトルが行われました。

ビブリオバトルとは一人一人が選んだ本を、いかに見ている人に読みたくなるように紹介できるかを競う読書活動です。

それぞれ、堂々と持ち時間いっぱい発表しました。

発表の声の大きさだけでなく、発表の内容にもこだわり、「どうしたら私の好きな本をアピールできるだろう」「どうしたら聞く人に届くだろう」と考えて準備してきたことがよく分かりました。聞く生徒たちも食い入るように発表する人を見つめていました。

投票の結果、チャンプ本は原心葉さんが紹介した「少年と犬」という本になりました。全員がますます読書好きになってくれることを楽しみにしています。

お久しぶりちあさん



高校入試が迫る2月3日(月)に3年生が1年生の頃に同級生だった池島千愛さんが本校を訪問しました。千愛さんは現在千葉県にお住まいです。ぜひ住用中の友達に会いたいと希望して今回の訪問が実現しました。

2年間の空白など無かったかのように近況についてそれぞれ話をしたり、校舎を見て回ったり千愛さんも3年生も楽しそうに過ごしていました。

3年生は、千愛さんと話をする中で、人と人とのつながりが自分の世界を広げてくれることを実感したに違いありません。一人一人が未来へ希望をもって進んでくれることを願います。

3月・4月の主な行事

- 3/5(水) 公立高校入試(～3/6)
- 3/12(水) 第76回卒業証書授与式
- 3/13(木) 鹿児島県公立高校入試合合格発表
- 3/25(火) 修了式、離任式
- 3/26(水) 春休み(～4/6)
- 4/7(月) 新任式、始業式
- 4/9(水) NRT・身体計測
- 4/14(月) 避難訓練
- 4/15(火) 家庭訪問(役勝)
- 4/17(水) 全国学力学習状況調査
・家庭訪問(西仲間、山間)
- 4/23(水) PTA総会・学級PTA